

会 議 録

1 会議名

第3回柿崎区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1)協議事項（公開）

- ・地域活動支援事業採択決定

(2)報告事項（公開）

- ・地域協議会だより編集委員会からの報告

3 開催日時

平成30年5月24日（木）午後6時から7時19分まで

4 開催場所

柿崎コミュニティプラザ 305～307会議室

5 傍聴人の数

8人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く） 氏名（敬称略）

- ・ 委 員：小出優子（会長）、金子正一（副会長）、薄波清美、太田健一、片桐充、加藤満、佐藤健、白井一夫、武田正教、楡井隆子、引間孝史、湯本清隆、吉井一寛、渡邊征雄
- ・ 事 務 局：柿崎区総合事務所 滝澤良文所長、佐藤誠司次長、風巻雅人総務・地域振興グループ長、山田幸江産業グループ長、柳澤一幸建設グループ長、島岡聡市民生活・福祉グループ長、平野真教育・文化グループ長、唐澤幸代地域振興班長、長井英紀主任、高野美希主事(以下グループ長はG長と表記)

8 発言の内容（要旨）

【佐藤次長】

- ・ 会議（地域協議会）の開会を宣言
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 2 項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 1 項の規定により、会議の運営は会長が行う旨を説明

【小出会長】

- ・ 会長挨拶
- ・ 会議録署名委員に武田委員を指名

【小出会長】

次第 4 の「協議事項」に入る。
平成 30 年度の地域活動支援事業の採択事業を決定する。
最初に、事務局から審査結果の報告をお願いする。

【長井主任】

- ・ 資料 No. 1、資料 No. 2 により報告

【小出会長】

1 番から 4 番まで採択基準を満たしているので、このまま採択ということでしょうか。

- ・ 「はい」の声

【小出会長】

5 番から 13 番までが、⑤発展性の平均点で 3 点に欠けている。さらに、14 番の新規事業は、④参加性の平均点、⑤発展性の平均点が 3 点に満たないということ、それから最後の総得点の平均点も 15 点に若干満たないという結果になっている。

そこで、5 番から 13 番までの採択と、14 番に関しては別に協議をさせてい

ただきたいと思うが、よろしいか。

・「はい」の声

【小出会長】

では、5番から13番までについて、意見がある方は挙手でお願いします。

【吉井委員】

このメンバーになって3回目の支援事業の採択協議ということになるが、昨年同じような状況で、この発展性の平均値が3点に満たないけれども、総得点で15点以上のものは、採択の協議で認めることにさせてもらった。ということで、本年度も、昨年と同じ状況で総得点15点以上のものは、発展性が3点未満でも採択してよいのではないかと思う。

【小出会長】

吉井委員から昨年の例も出して、採択してよいのではないかという意見が出た。他に意見はあるか。

【白井委員】

柿崎区に配分されている金額が720万円ということであるが、14番の新規を入れても7,343,000円で、143,000円超えということで、この143,000円を、どちらかのグループからマイナスをすると、14番まで全部採択できるのではないかと思う。

【小出会長】

白井委員から、14番まで含めた採択ということで、足りない分を減額していったらどうかという意見が出た。いかがか。

【薄波委員】

新規事業ではない5番から13番までは、必要な事業費から、それぞれ減額を

されて事業の計画をしているので、14番と趣が違うように思う。継続をして、支援事業に挙げて実施をしていただいているということは、柿崎にとって必要な事業であるということの裏返しでもあるので、減額を簡単にしてよいかは疑問に思う。

【小出会長】

薄波委員からこのような意見がでたが、いかがか。

【武田委員】

確かに去年と同じ問題がここに発生してきて、去年もそういう形で対応した。14番に関しては二つの項目から3点に満たない点数が出てきて、合計点でも15点に満たなかったが、金額的に予算の中に収まれば、点数が採択基準から外れてよいことになってしまうと、来年以降の色々な提案事業が出てきた中で、15点以下よりもっと低くても、予算に収まって、あぶれなければ全部採択してよいのではないかという形になる。その辺も皆さんで話し合っ、この中でも金額的に間に合うならば、全部採択することもあるというような位置づけがしっかりしているならいいが、そこは今後もどうするのか、あくまでも採択基準を二つなり三つなり満たしていない部分も、金額的にあるからよいのだということを、その中ではっきりしておかないと、来年以降も同じ問題が出てくると思う。

【湯本委員】

私も基本的に吉井委員の意見に賛成である。13番まではまとめて考えて、14番は切り離して考えたほうがよいと思う。

【小出会長】

他にいかがか。

【太田委員】

私も吉井さん、湯本さんの意見に賛成である。14番だけ、最初会長のほうで話をされたように、それだけを審議いただければ。やはり14番については、最

初から少し問題点があったのではないかと思っている。

【佐藤委員】

一応審査基準の評点15点以上という規定があるのだから、それはやはり満たしてもらわないと、今後、来年、再来年の問題も色々出てくると思う。14番については切り離して考えて、1番から13番までを採択することとしたらよいのではないか。

【小出会長】

他にいかがか。

今、5番から13番まで、13番が16.8という、15点をクリアしているわけだが、それを採択という方向で決めてよいのではないかという意見がだいぶ出ているが、いかがか。

挙手で決めさせていただく。5番から13番まで、これは採択するというところで賛成の委員は挙手を願います。

・全員が挙手

全会一致ということで、採択させていただく。

では改めて、14番の新規、柿崎地区春・秋祭り大人神輿の伝統継承事業の検討に入る。参加性で2.813、発展性で2.875、トータルで14.938という点数になっているが、どのようにしたらよいか、意見を願います。

【渡邊委員】

あくまで私の意見であるが、柿崎区地域協議会が採択事業の審査に当たり定める事項の採択基準の審議になるわけだが、総点数の平均が14.938というのは、基準を満たしていないわけである。例えばこれが不採択という形になれば、残った金額が二次募集という形になるか、それとも、地域協議会で協議して、例えば143,000円の超過額を、この14番の団体の補助希望額から差し引くこととしてもよいか協議し、申請団体の意思があれば、採択の形にしてあげてい

いのではないかというのが私の意見である。

【小出会長】

渡邊委員から、143,000円を補助希望額100万円から引いて、それでもこの事業をやりとおすということであれば、採択してよいのではないかという意見が出た。他の委員の皆さんはいかがか。

【佐藤委員】

追加募集をしたほうがいいのではないか。

【太田委員】

質問1、2にあるように、町内会長さんはコミュニティ助成事業を知っているはずである。町内、あるいは地域の皆さんにこうしたことを話せば、コミュニティ事業があるので、そこで対応してはどうかという話が、当然町内会長さん、あるいは地域の中から話が出るのではないかと思われるし、また、氏子さん、あるいは町内会、地域の皆さんにこうした話をしないで、この地域活動支援事業に要請、願いを出すということは、違った形ではないかと思っている。

やはりコミュニティ助成事業等をやってみて、あるいは氏子さんに相談をしてみても、もしそれで足りないということであれば、またこうした中で対応できればと思っているので、先ほどの佐藤委員のように、やはり少し考える必要があるのではないかと思う。

【小出会長】

コミュニティ助成事業について、行政から説明をお願いします。

【風巻G長】

今ほど太田委員からお話のあった、コミュニティ助成事業について管轄しているのが総務・地域振興グループであるので、私のほうから説明をさせていただく。

今ほど申された助成事業については、宝くじの収益金を利用して申請をするというものである。分野も色々あり、町内会館からLEDの街灯、それから今の神

興等、色々ある。残念ながら、申請すれば必ずとおるというものではない。以前は、採択される事業も多くあったが、最近では、上越市の場合だと20件から30件ぐらい。場合によっては2・3年、3・4年と待っていただくということにはなるが、順列がついて、そのうえで補助事業として採択となる。神輿の場合だと、今ははっきりと申し上げられないが、250万まで、おそらく補助事業を受けられるというような状況になっているかと思う。

【金子副会長】

今のこの14番の事業については、やはり、資料No.2にある、事業の採択基準、これが共通審査基準の評点が15点以上であるということ。それから各項目、5つの項目がそれぞれ3点以上であることという、採択基準が確立されているわけである。それを各項目では2項目が3点以下、総得点も15点に届いていないということになると、やはり今のコミュニティ事業といいますか、そういうのも視野に入れていただいて、もう少し練り直した形で、また再応募というのものもあるのかなと思うが、やはり先ほどから色々意見が出ているように、氏子、町内会480世帯もある中で、そのあたりの協議というのがあってしかるべきではないかと思う。

【小出会長】

他にいかがか。

今、氏子480世帯があり、コミュニティ事業というのものもあるのだから、そちらに申請したらどうかというような意見もあった。

また、15点に0.062足りないということだが。

【小出会長】

榆井委員、いかがか。

【榆井委員】

新規事業であり、比較的柿崎の町中の若い人たちが声を上げてくださることが少なく、とてもそれはありがたいことだと思って、内容を大変興味深く見て

いたが、やはり基準は基準なので、15点に満たなかったということはやはりそれなりの意味があると思うので、色々もう少し練り直すとか、ここで言っていた先ほどのお話のように、他の補助金を考えると、もう少し検討してからもう一回というような、必要であればそんな形かなと思う。

【引間委員】

私は、渡邊委員の143,000円を差し引いた金額で賄えるということであれば、採択してもよろしいのではないかなと思う。

【加藤委員】

この事業に質問が出ていて、その回答が出ているが、町内会からの回答では、申請の締め切りまで時間がないので、町内会と相談、打ち合わせをしておりませんという回答であった。だから、これはやはり問題があると思う。

【片桐委員】

私も柿崎の採択基準である、共通審査基準の評価が15点以上であることという、ここだけはやはり、基準は一つの基準として、しっかりここで線引きしなければいけないのではと思う。基準は基準だが、私は、15点というのは最低ラインではないかなと思うので、この14番目の事業に関しては、申し訳ないけれども、採択しないという方向でいいのではないかなと思う。

【小出会長】

この件に関して、他に意見はあるか。

意見がないようなので、挙手で決定させていただいてよろしいか。

・「はい」の声

【小出会長】

では、15点という点数をクリアしていないということで、せっかく柿崎の町中から若い人が声をあげて出てきたのだけれども、採点は採点だということで、

もう一回練り直してもらおうという意見と、せつかくなので、143,000円を減額して採択したらどうか、という二つ意見が出ているが、15点に満たないということで、今回は採択しないという方に賛成の方、挙手をお願いします。

- ・委員の半数以上が挙手

【小出会長】

採択しないという委員の人数が多かったので、そのようにさせていただく。

もう一度、二次募集という形で、事業を募集するという形になると思うが、残りのお金が857,000円ということになる。

【渡邊委員】

今の内容は、採択の結論であるからいいが、二次募集という形で、その場合にここで不採択になった団体が、もう一度再申請に来たという部分は柿崎の採択基準の中にはないが、その辺を協議していただきたい。

【小出会長】

渡邊委員から意見が出たが、もう一度帰って練り直して、再提案も受け付けるかどうか、ということだが、いかがか。

【薄波委員】

ぜひ練り直して、提案してもらっていいのではないかと思うが、今までの例で、二次募集をして結構いい提案事業がまた出てきて、そこでまた競い合うというのもいいのかなと思うので、ぜひそういうのは、練り直して提案していただきたいと思うが、いかがか。

【小出会長】

他にいかがか。

では、今不採択になった事業についても、もう一度持ち帰って、町内会長さんとか色々検討して、練り直して再提案は妨げないということによろしいか。

・「はい」の声

【小出会長】

今、渡邊委員から出た問題については、再提案を認めるということをお願いする。同じものではなく、やはりそのプロセスが大事であると思うので、町内会長さんや氏子の皆さんと色々協議して、出していただきたいと思う。

では、地域活動支援事業の1番から13番までは、採択するという事で決定した。そして14番については、もう一度練り直して再提案は妨げないということで、今回は見送りという形にさせていただいた。

【風巻G長】

今ほど不採択ということで、再募集するかしないか、という部分をはっきりさせていただきたいと思う。そして、再募集するとなると、次のスケジュールがあるので、事務局のほうからスケジュールの提案をさせていただきたいと思う。

【小出会長】

再募集するという事でよろしいか。

・「はい」の声

【小出会長】

では、追加募集スケジュール案について、事務局から説明していただく。

【唐澤班長】

それでは、今お手元にお配りした地域活動支援事業の追加募集スケジュール案をご覧ください。

・資料地域活動支援事業の追加募集スケジュール（案）により説明

【渡邊委員】

最後のその他のところに、第4回の地域協議会が6月19日となっているが、

これを6月26日の火曜日に、一緒にしてはいかがか。

【風巻G長】

私どもの予定としては、19日の地域協議会を一週間送っていただいて、毎週やるのではなくて、26日に第4回の地域協議会を開催させていただければと思っている。ここでお決めいただくことになるが。

【小出会長】

第3火曜日は19日だが、今回のイレギュラーなことが起こったので、一週間繰り延べて26日の火曜日に開催したらどうかということになっているが、このスケジュールでよろしいか。

・「はい」の声

【小出会長】

異議なしということで。

事業提案の募集期間を、6月1日金曜日から18日の月曜日まで、地域活動支援事業の審査、依頼及び提案書の発送が6月20日になる。最後に6月26日に地域協議会を開催した時に、プレゼンテーション、質疑応答、基本審査、採択方針の適否、採点票の提出、採択決定ということで、当日に決定するということになる。

【吉井委員】

確認だが、6月26日にプレゼンテーションをやって、それでその日に採択をするということか。採点表を皆に配って、その日に採点をするということか。

【小出会長】

そうです。過去にもやっていると思うが。

【吉井委員】

分かりました。

【唐澤班長】

募集のPR等の方法について説明させていただく。追加募集のPRだが、6月1日からということで、町内会長さん宛に、広報上越の配布日が6月1日号があるので、それに合わせてPRチラシを町内回覧で配布したいと思っている。また、防災行政無線で広報したいと思っている。

【長井主任】

今ほど吉井委員から質問があった件に関して、6月20日に、審査依頼及び提案書の発送のところに、採点表も同封させていただきたいと思うので、ご承知おきいただければと思う。

【小出会長】

追加募集のポスターを作って貼っていただきたい。

【唐澤班長】

回覧のものを大きく引き伸ばしてポスターにするというような形で作成したいと思う。

【小出会長】

よろしく願います。

以上でよろしいか。

・「はい」の声

【小出会長】

報告事項に移らせていただく。地域協議会だより編集委員会からの報告を、佐藤委員から願います。

【佐藤委員】

それでは私から報告させていただく。

5月2日の午後6時から後期、あと2年間の我々の任期があるわけだが、地域協議会だより編集委員会を開催し、8名にてスタートさせていただいた。そういう中で、平成30年度の地域協議会だよりについては、4回、6月15日、9月1日、12月1日、3月15日ということで4回の発行とさせていただきたいと思っている。

それから、地域住民の皆さんは、地域協議会というものをあまり理解されていないというのが現状ではないかということで、じゃあこれらをどのように伝えるのかとなると、やはりこの地域協議会だよりが一番の基になるのではないかと考えている。それにはどのようなかたちで地域の皆さんに分かりやすくするかということになると、色々と編集の内容等に重点を置きながら、もう少し分かりやすく地域の皆さんにお知らせしたいと考えているので、今後とも皆さん方のところに原稿依頼が行きましたら、丁寧な文章を、分かりやすい内容にて提示していただくことをお願いして、私からの報告とさせていただきたいと思う。

また、私たちの編集の担当であるが、武田委員と湯本委員にお願いをしてあるので、この5月30日に、最終的な原稿の締め切り、あるいは編集の内容等の打ち合わせがあるので、そこらへんで皆さん方とともにやっていきたいと考えているので、よろしく願います。

【小出会長】

平成30年度は4回、6月15日、9月1日、12月1日、3月15日号を発行されるということで、そしてできるだけ地域協議会を理解してもらえらるような、分かりやすい内容で編集をしていきたいということです。また、武田委員、湯本委員は編集作業をしていただくようだが、よろしく願います。

その他に移る。

- ・第4回柿崎区地域協議会の開催について

日 時：平成30年6月26日（火）午後6時～

会 場：柿崎コミュニティプラザ 305～307 会議室

- ・閉会を宣言

(午後 7 時 1 9 分閉会)

9 問合せ先

柿崎区総合事務所総務・地域振興グループ

TEL : 025-536-6701 (直通)

E-mail : kakizaki-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。